

平成24年3月期 第2四半期決算説明会

平成23年11月8日



ご注意

本資料に含まれる予想に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本及び世界の経済動向、新たな技術開発の進展により変動することがあります。従って、当社としては、その正確性を保証するものではありません。

Contents

- 
- 1.第2四半期(累計)業績の総括
 - 2.第2四半期(累計)の概況
 - 3.計測・計量機器事業 実績-1
 - 4.計測・計量機器事業 実績-2
 - 5.DSP事業の業績
 - 6.医療・健康機器事業 実績-1
 - 7.医療・健康機器事業 実績-2
 - 8.財務分析(貸借対照表)①
 - 9.財務分析(貸借対照表)②
 - 10.設備投資・減価償却費の推移
 - 11.業績予想の修正について
 - 12.24年3月期通期見通し
 - 13.計測・計量機器事業 見通し-1
 - 14.計測・計量機器事業 見通し-2
 - 15.医療・健康機器事業 見通し-1
 - 16.医療・健康機器事業 見通し-2
 - 17.タイヤ転がり抵抗試験機
 - 18.熱交換システム
 - 19.研究室・分析市場向け製品の強化
 - 20.医療ICTへの取組の一例
 - 21.補足資料

第2四半期(累計)業績の総括

ハイライト

 欧米の経済不安とこれに起因する新興国の経済成長の鈍化により、海外の業績が厳しい状況。一方国内は堅調に推移

 難しい経済環境の中、昨年に引き続き販売管理費の削減を継続し、通期黒字を目指す

 DSP事業は前下半期に回復基調を見せたが、震災や米国の景気後退を背景に今上半期は自動車関連の案件が一時先送りされ低調に推移

第2四半期(累計)の概況

(単位：百万円)

連結損益	23/3期 2 Q累計	24/3期 2 Q累計	前 年 同期比	2 Q 累計予想	予想比	コメント
売 上 高	14,316	13,905	-2.9%	15,160	-8.3%	
売上原価	7,835	7,387	-5.7%	8,210	-10.0%	原価率が前期55%から当期53%に低減
販売費及び 一般管理費	6,721	6,577	-2.1%	6,900	-4.7%	販管費144百万円の削減
営業利益	-241	-59	—	50	—	
経常利益	-461	-379	—	-120	—	
税 引 き 前 利 益	-500	-401	—	-124	—	
当 純 利 益	-590	-491	—	-180	—	
1 株 当 た り 利 益 (円)	-29.34	-24.35	—	-8.95	—	

(注) 1. 24年3月期予想は、5月13日付の「平成23年3月期決算短信」にて発表した予想であります(以下同じ)。

2. 小数点以下(百万円未満)は四捨五入で表記しています(以下同じ)。

計測・計量機器事業 実績－1

(単位：百万円)

セグメント		23/3期 2 Q累計	24/3期 (実績)	前 年 同期比	2 Q 累計予想	予 想 比
計測・計量 機器事業	売 上	8,054	8,154	1.2%	8,640	-5.6%
	売 上 原 価	4,818	4,526	-6.1%	4,830	-6.3%
	販 管 費	3,667	3,635	-0.9%	3,740	-2.8%
	営 業 利 益	-431	-7	—	70	—

1. 計測・計量機器が好調だったものの、DSPが振るわず。

⇒売上は前期比1.2%増

2. 前期に引き続き、開発費等の販管費の抑制を継続（前期比2.8%減）

⇒営業利益は赤字ではあるものの、前期より大きく改善した。

計測・計量機器事業 実績－2



(単位：百万円)

製 品 種 別	23/3期 2 Q累計	24/3期 2 Q累計	前 年 同期比	2 Q 累計予想	予想比
計 測 機 器	1,202	1,598	32.9%	1,470	8.7%
計 量 機 器	5,049	5,283	4.6%	5,030	5.0%
計測・制御・シミュレ ーションシステム (DSP)	1,619	1,048	-35.3%	1,990	-47.3%
電 子 ビ ー ム 関 連 ユ ニ ッ ト	184	226	22.8%	150	50.7%
売 上 合 計	8,054	8,154	1.2%	8,640	-5.6%

- 計測機器** : 夏季の熱中症・節電対策のため、熱中症モニターや温湿度計関連が好調、また物性試験機も増加。
- 計量機器** : 国内は秤・ロードセルを中心に好調を維持、海外は堅調に推移。
- DSP** : 震災や米国の景気後退を背景に上期は自動車関連の案件が一時先送りされ低調に。
- 電子ビーム関連ユニット** : 半導体市況の回復は弱いものの、予想は上回った。

DSP事業の業績

(単位：百万円)

	用 途 種 別	22/3期 (実績)		23/3期 (実績)		24/3期 (実績)
		上期	下期	上期	下期	上期
新 規 事 業	自 動 車 関 連	880	1,396	1,461	1,272	872
	試 験 機 関 連	29	59	41	45	45
	そ の 他	127	176	117	389	131
	小 計	1,036	1,630	1,619	1,706	1,048
既 存 事 業 へ の D S P 技 術 応 用	特殊試験機関連	8	135	39	265	97
	計量制御関連	48	82	53	59	38
	医 療 機 器					
	小 計	56	217	93	324	134
合 計		1,092	1,847	1,712	2,030	1,182
売 上 合 計 (通 期)		2,940		3,742		1,182

国内は震災の影響もあり自動車関連を中心に前半は受注見送りの傾向が強く、売上は低調だったが、8月以降徐々に受注が回復している。北米は政府による自動車業界の支援策の縮小および景気後退に伴い設備発注の先送りが見られ、低調に推移。

医療・健康機器事業 実績－1



(単位：百万円)

セグメント		23/3期 2Q累計	24/3期 2Q累計	前 年 同期比	2 Q 累計予想	予 想 比
医療・健康 機器事業	売 上	6,262	5,751	-8.2%	6,520	-11.8%
	売 上 原 価	2,872	2,891	0.7%	3,380	-14.5%
	販 管 費	2,448	2,350	-4.0%	2,540	-7.5%
	営 業 利 益	942	510	-45.9%	600	-15.0%

1. 家庭用血圧計は、米・ロシアの現地法人が売上は増加しているものの、円高のため円換算では売上減。

⇒売上高は前期比8.2%減少

2. 販管費は売上減に対応し計画値以下に抑え、前年比でも若干減少。

⇒営業利益は前期比45.9%減少

医療・健康機器事業 実績－2



(単位：百万円)

製 品 種 別	23/3期 2Q累計	24/3期 2Q累計	前期比	2 Q 累計予想	予想比
医 療 機 器	1,014	1,074	5.9%	1,150	-6.6%
健 康 機 器	5,248	4,676	-10.9%	5,370	-12.9%
売 上 合 計	6,262	5,751	-8.2%	6,520	-11.8%

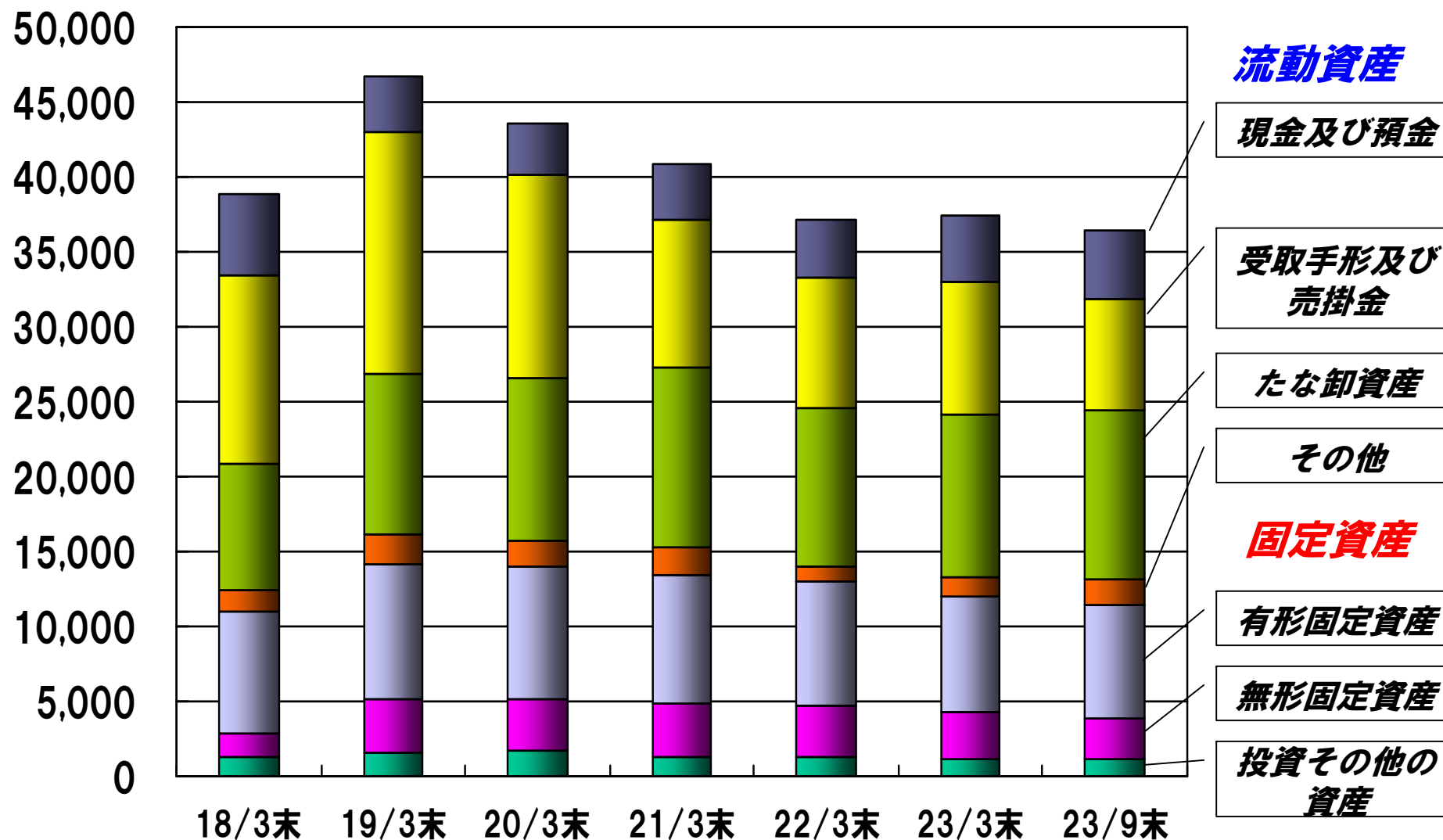
医療機器：国内はメディカル計量器および全自動血圧計が好調だが、海外は円高の影響もあり苦戦。

健康機器：国内は全体的に低調に推移、海外は米・ロシアの現地法人の売上は増加しているものの、円高のため円換算では売上減。

財務分析（貸借対照表）

■ 貸借対照表分析 資産の部

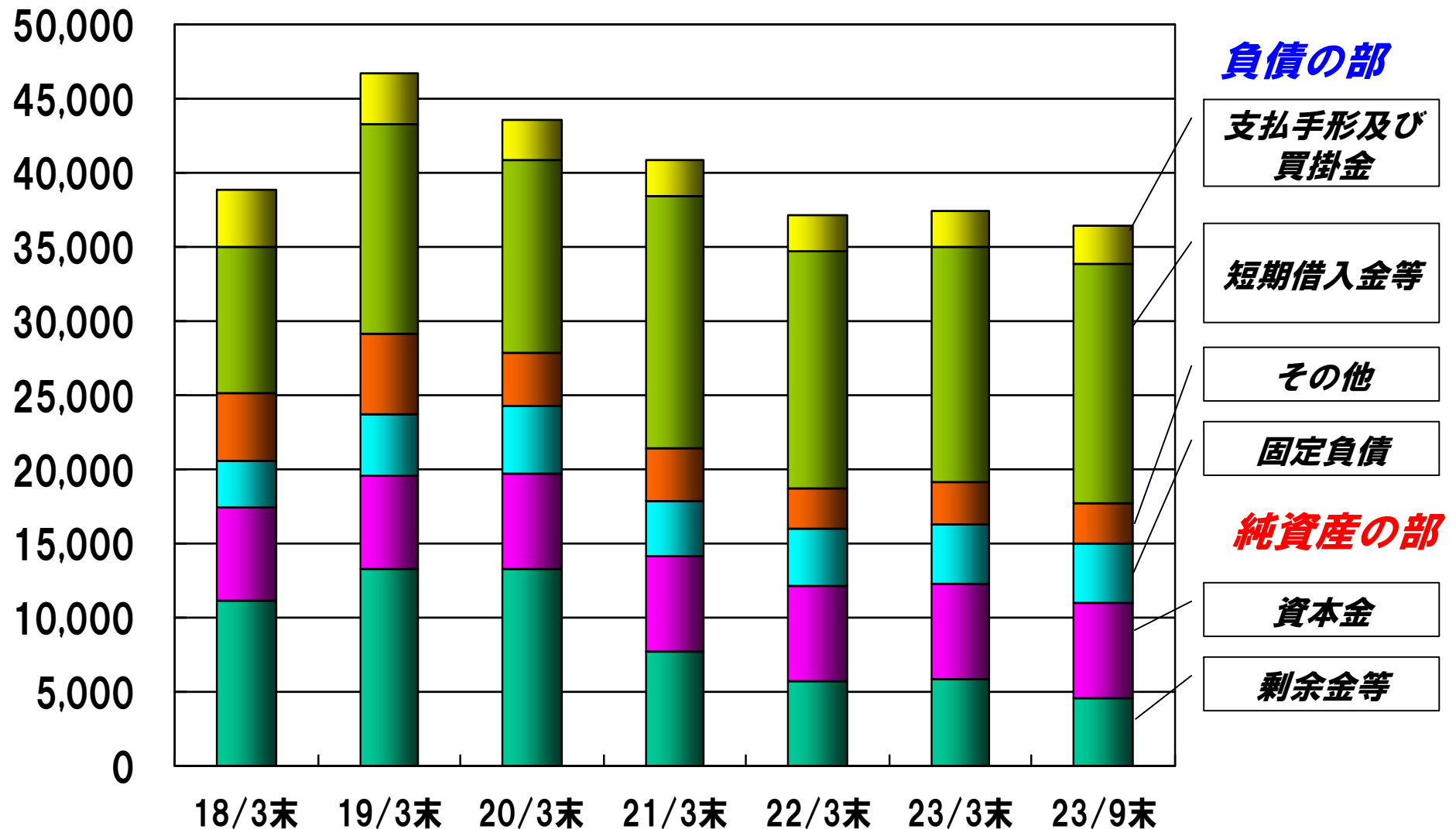
（単位：百万円）



財務分析（貸借対照表）

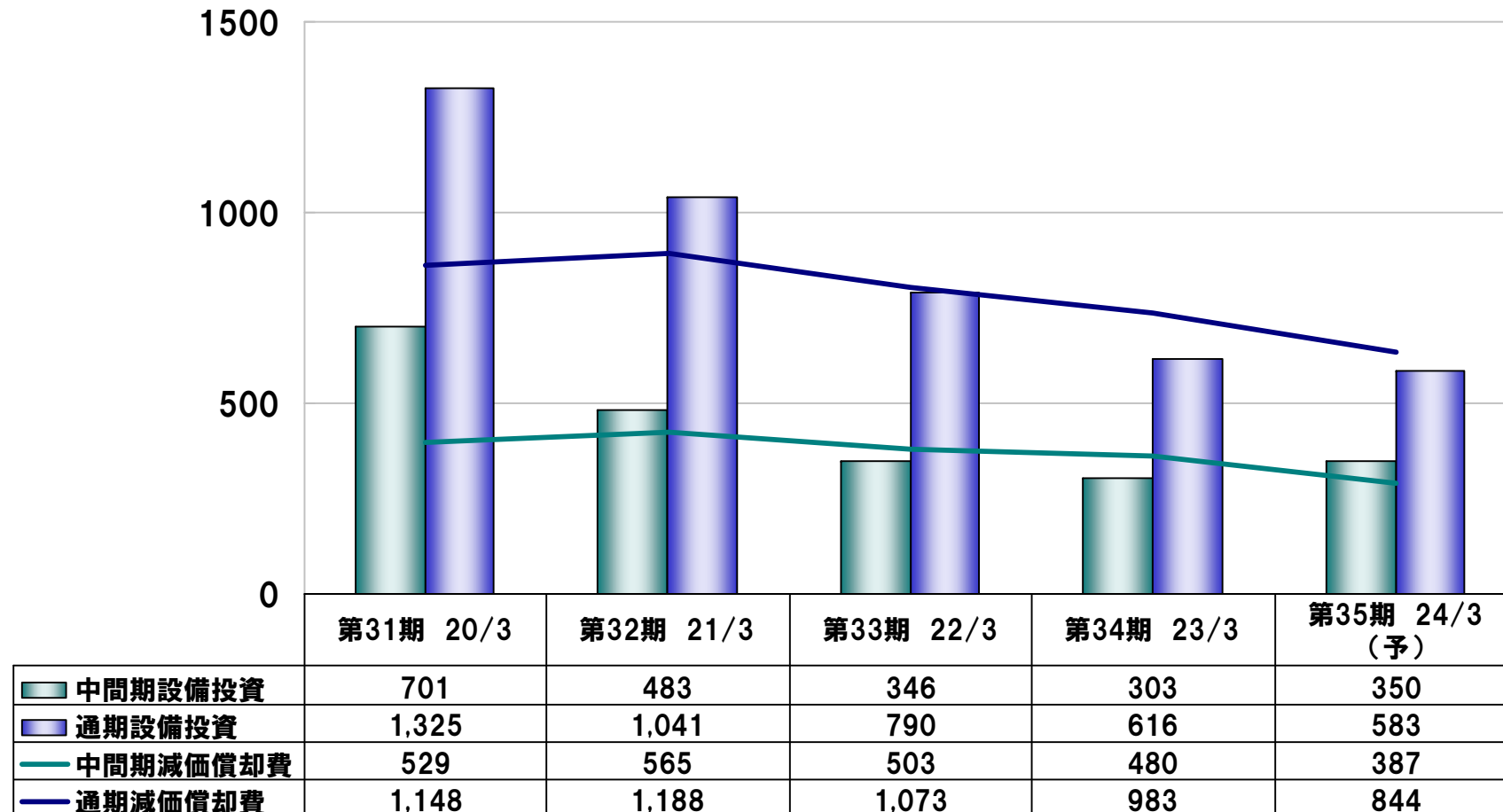
■ 貸借対照表分析 負債・純資産の部

（単位：百万円）



設備投資・減価償却費の推移

(単位:百万円)



上期は節電関連の臨時投資が発生したため、前年比で増加となったが、下期は投資を抑制し、通期では前年実績を下回る見込み

業績予想の修正について

(単位：百万円)

	上期業績予想			通期業績予想		
	前回発表予想 (2011.5.13発表)	今回修正予想 (2011.11.4発表)	増減額	前回発表予想 (2011.5.13発表)	今回修正予想 (2011.11.4発表)	増減額
売上高	15,160	13,905	-1,255	32,500	30,200	-2,300
営業利益	50	-59	-109	1,070	1,000	-70
経常利益	-120	-379	-259	720	500	-220
当期純利益	-180	-491	-311	610	230	-380
1株当たり利益 (円)	-8.95	-24.35	-15.40	30.32	11.39	-18.89

修正の理由

国内は概ね順調に推移したが、海外は上期に円高の影響を受けたこと、また下期も引き続き円高の影響が想定されることから業績の修正に至った。

通期の見通しについては、円高の影響が懸念されるものの、日本、米国およびロシアでのクリスマスや年度末の需要増から上期の損失を吸収し黒字転換する見通し。

下期の想定為替レート ()内は期初の想定レート

1 \$ = ￥77 (￥82)

1 ルーブル = ￥2.6 (￥2.8)

24年3月期通期見通し

(単位：百万円)

連 結 損 益	23/3期 (実績)	24/3期		24/3期 (通期予想)	前期比
		上期実績	下期予想		
売 上 高	30,669	13,905	16,295	30,200	-1.5%
売 上 原 価	16,650	7,387	8,678	16,065	-3.5%
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	13,465	6,577	6,558	13,135	-2.5%
営 業 利 益	555	-59	1,059	1,000	80.2%
経 常 利 益	294	-379	879	500	70.1%
税 引 き 前 利 益	319	-401	877	476	49.2%
当 期 純 利 益	538	-491	721	230	-57.2%
1 株 当 た り 利 益 (円)	26.73	-24.35	35.74	11.39	-57.4%

(注) 24年3月期予想は、11月4日付の「業績予想と実績値との差異及び業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表した予想であります(以下同じ)。

計測・計量機器事業 見通し－1



(単位：百万円)

セグメント		23/3期 (実績)	24/3期		24/3期 (予想)	前期比
			上期実績	下期予想		
計測・計量 機器事業	売 上	17,214	8,154	9,386	17,540	1.9%
	売 上 原 価	10,009	4,526	5,247	9,773	-2.4%
	販 管 費	7,287	3,635	3,564	7,199	-1.2%
	営 業 利 益	-83	-7	575	568	—

1. 売上

DSPシステムおよびDSP応用試験機を中心に売上増を図る

2. 営業利益

製品原価のコストダウンおよび販売管理費の更なる抑制により、通期での営業黒字化を目指す

計測・計量機器事業 見通し－2

(単位：百万円)

製 品 種 別	23/3期 (実績)	24/3期		24/3期 (予想)	前期比
		上期実績	下期予想		
計 測 機 器	3,033	1,598	2,032	3,630	19.7%
計 量 機 器	10,294	5,283	5,367	10,650	3.5%
計測・制御・シミュレーションシステム (DSP)	3,325	1,048	1,752	2,800	-15.8%
電 子 ビ ー ム 関 連 ユ ニ ッ ト	562	226	234	460	-18.1%
売 上 合 計	17,214	8,154	9,386	17,540	1.9%

計測機器

：引張試験機等の受注拡大に注力し、DSP応用の大型試験機も自動車関連を中心に売上増加を目指す

計量機器

：国産唯一のマイクロ天秤の設置環境コンサルタントを通じた拡販、流通ルートに応じた製品開発、シェアの優位性を生かした市場拡大
新興国向けボリュームゾーン製品の開発および拡販

DSP

：増加している引合いを受注に繋ぐべく営業を推進、幅広い技術力を活かし多様なユーザーニーズへの対応

電子ビーム関連ユニット：電子ビーム等を利用した応用市場を開拓

医療・健康機器事業 見通しー1

(単位：百万円)

セグメント		23/3期 (実績)	24/3期		24/3期 (予想)	前期比
			上期実績	下期予想		
医療・健康 機器事業	売上	13,456	5,751	6,909	12,660	-5.9%
	売上原価	6,529	2,891	3,431	6,322	-3.2%
	販管費	5,015	2,350	2,409	4,759	-5.1%
	営業利益	1,912	510	1,069	1,579	-17.4%

1. 売上

クリスマス商戦に向け新商品を投入し下期の売上回復を図るが、為替の影響もあり通期売上は前期比5.9%減を見込む

2. 営業利益

売上の減少見込みに対応し、販管費を抑制する

⇒営業利益は前期比17.4%減少を見込む

医療・健康機器事業 見通しー2



(単位：百万円)

製 品 種 別	23/3期 (実績)	24/3期		24/3期 (予想)	前期比
		上期実績	下期予想		
医 療 機 器	2,180	1,074	1,146	2,220	1.8%
健 康 機 器	11,275	4,676	5,764	10,440	-7.4%
売 上 合 計	13,456	5,751	6,909	12,660	-5.9%

医療機器：・開発スピードを上げて積極的に新製品投入を図る

- ・栄養管理治療への保険点数付与（医科向け計量器需要）等、市場ニーズを的確に捉えて営業を展開する

健康機器：・ロシアにおいては競争優位性の確保、成長力のあるアジアマーケット（中国、韓国他）では市場拡大を促進

- ・IT技術活用により、近年欧米を中心に活発となってきた在宅医療および医療ICT（Information Communication Technology：情報通信技術）向け機器分野での売上伸張を図る

トピックス1～タイヤ転がり抵抗試験機



タイヤのラベリング制度の開始に伴い、エコタイヤが注目されていますが、その低燃費性能は転がり抵抗を低減することで実現されます。

A & Dの転がり抵抗試験機は、ISO28580およびJIS D4234に準拠し、自社製の高精度6分力計を採用、1/1000以上の精度で軸力を計測し、また標準偏差0.04以上の再現性を実現、タイヤラベリング制度の運用に必要な転がり抵抗試験機として活用できます。

トピックス2～熱交換システム



A & Dの熱交換器は、実験モデルを駆使したシミュレーション技術により優れた制御性を実現しています。

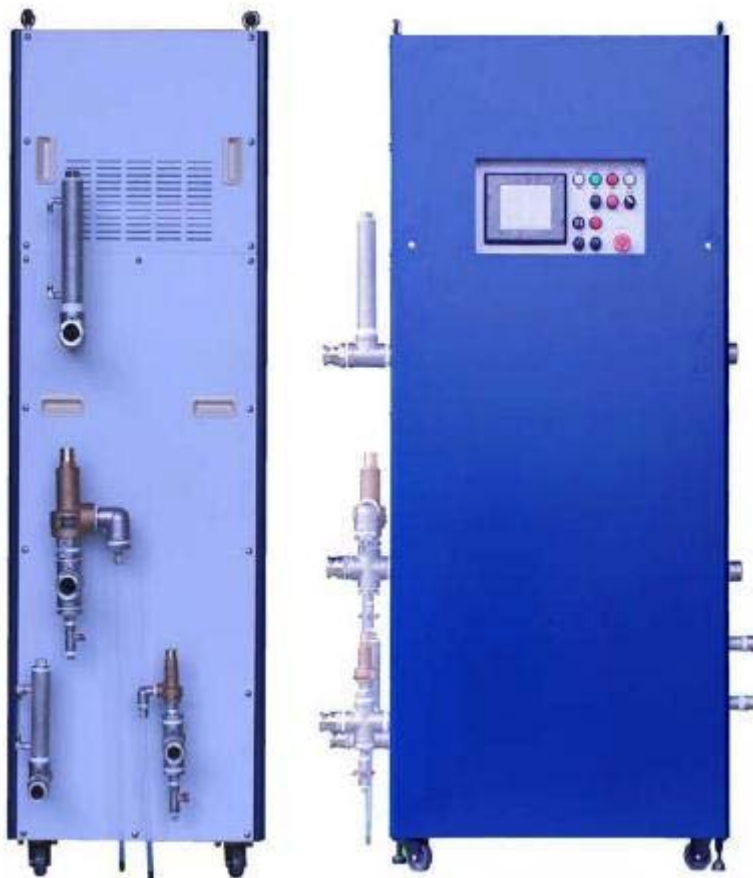
●DSPによる制御

定常は、より高精度に $\pm 1^{\circ}\text{C} \rightarrow \pm 0.5^{\circ}\text{C}$

実車走行状態の温度をベンチ上で再現するための過渡制御に最適化を計っています。

●過渡制御の為にモデル化とSILSの構築

熱交換器、エンジンモデル、実験によるパラメータ同定、エンジン発熱モデルなどを構築して制御系に組み入れています。



トピックス3～研究室・分析市場向け製品の強化

研究開発市場向けに高精度な計量機器群を用意

ピペトリークテスター

ピストンシール、Oリングの摩耗、
ピストン部の錆びなどにより発生す
る液漏れ検査が短時間で可能



ピペット容量テスター

正確で簡単にピペット使用現場で
の容量検査ができる

国際規格ISO8655に準拠



マイクロ天秤 BMシリーズ

高分解能で1 μ gの計量が可能。微量
計量は設置環境の影響を受けやすいた
め、「環境モニター」により設置環境
改善のソリューションを提供

音叉型振動式粘度計

試料の粘度変化や温度変化
にすばやく応答し、リアル
タイムの測定が可能。音叉
型振動式によるフルレンジ
1%の高精度な再現性。粘度
測定のパラメータとしてJCSS
校正対象機器に認定



加熱式水分計

高精度センサーSHSの採用
により、高感度・高精度の
計量をベースとした再現性
の高い水分率計測が少量の
サンプルで可能



トピックス4～医療 / CTへの取り組みの一例

✦ 南三陸町で血圧管理の遠隔医療支援



避難所に設置されたネットワーク対応全自動血圧計「診之助」

津波の影響でカルテやお薬手帳が消失した結果、血圧など慢性疾患の管理ができず、心血管疾患のリスクが増大。また避難生活のストレスが血圧上昇につながっている。

一方、現地の医療スタッフの手が足りず、ハイリスク患者を発見できない。



仮設診療所と町内最大の避難所に自動血圧計を設置、また受診者に家庭用血圧計を配布し、診療所で受診の際にパソコンに血圧データを自動転送、現地および外部の医療機関で遠隔医療を実施。



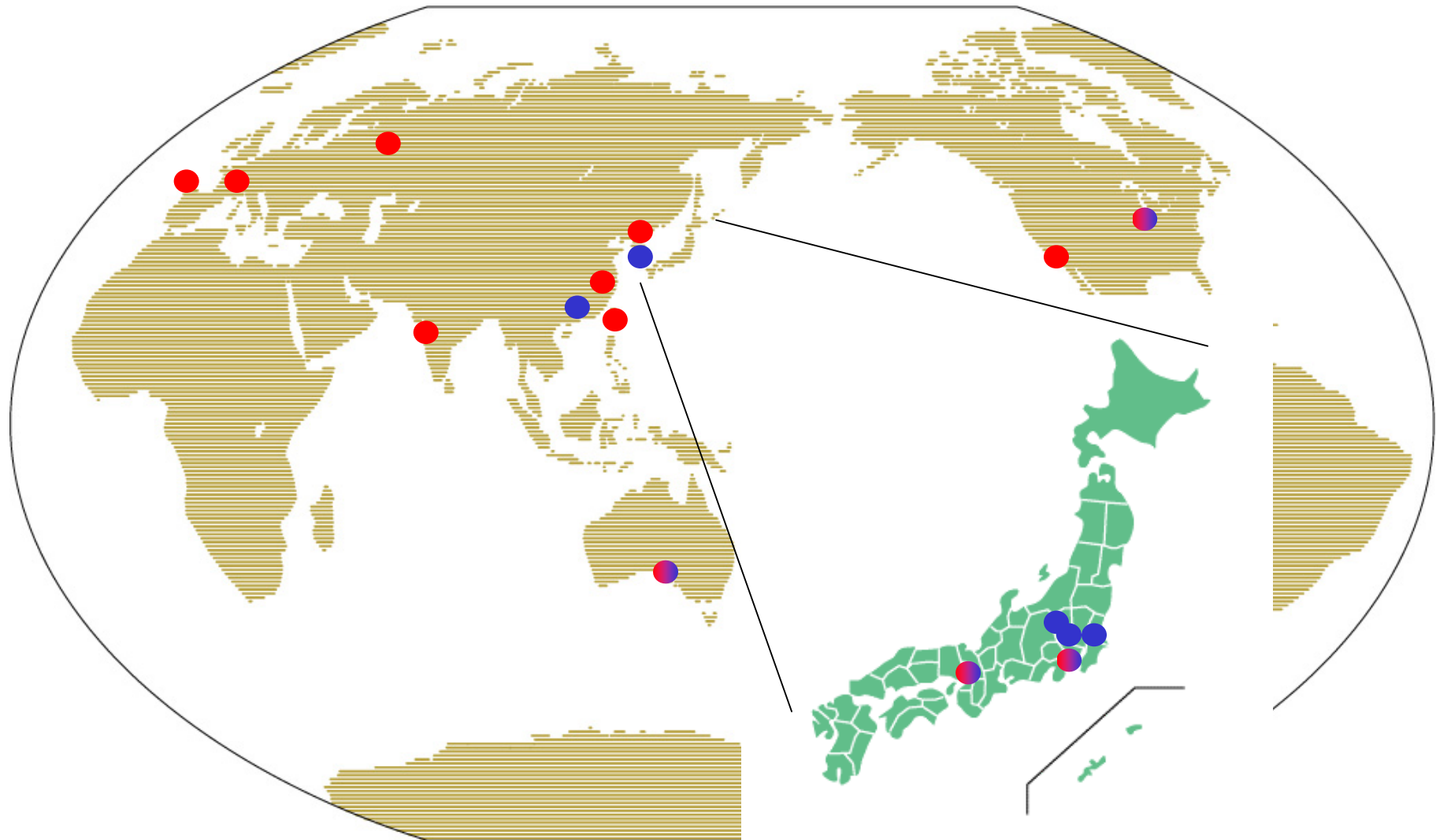


補足資料



- 1 グループの概要
- 2 製品紹介（計測機器）
- 3 製品紹介（計量機器）
- 4 製品紹介（医療・健康機器）
- 5 DSPシステムとは
- 6 DSPシステムの採用事例－1
- 7 DSPシステムの採用事例－2
- 8 電子ビーム関連ユニット
- 9 開発の状況

グループの概要



A & Dは開発および販売を中心に活動
生産主体は国内外関係会社
海外販売は関係会社経由と直販を併用

- 生産・開発関係会社
- 販売関係会社

製品紹介（計測機器）

種 別	概 要	主 要 製 品
波 形 解 析	音・振動等時間的に変化する物理信号を収集および解析	波形解析システム、FFTアナライザ、データロガー
非破壊検査機器	超音波を利用して溶接欠陥や亀裂・腐食等を調査	超音波探傷器、超音波厚さ計
材 料 試 験 機	材料・部品の引っ張り圧縮強度や粘弾性・粘度を測定	引張圧縮試験機、動的粘弾性測定機、粘度計、摩擦摩耗試験機
電 子 計 測 器	プロからホビーや家庭まで、多種多様に取り揃えたデジタル電子計測機器	オシロスコープ、デジタルマルチメータ、タイマー、温湿度計、直流電源、壁内センサーetc.
油 圧 試 験 装 置	油圧サーボ機構を応用した各種試験装置	油圧式疲労試験機、油圧式振動試験機、油圧加振機等
環 境 計 測 機 器	各種排気ガス濃度測定器を始めとする環境計測機器	エンジン排ガス計測機器、燃料電池関連計測機器、各種ガス分析計等



万能材料試験機



動的粘弾性自動測定器

車載型リアルタイム
振動・騒音解析システム

熱中症計



超音波探傷器

製品紹介（計量機器）

種 別	概 要	用 途 等
電子天びん	軽量の物体の質量を高精度に計量する機器で、最大0.01mgまでの計量が可能	医薬品や精密材料等を対象に、研究開発向けから生産・検査まで幅広く使用
電子台秤	中・重量の物体の重量を計量する機器で、防水、防塵、防爆等、様々な環境に対応	厳しい環境下で使用される産業用から家庭で使用されるものまで、幅広い製品群をラインナップ
インジケータ	計量センサから得た信号を質量や力としてデジタル表示、及び制御を行う	粉・粒状物体の自動計量システム、台秤、トラックの積載量を計量するトラックスケール等に使用
ロードセル	金属製の起歪体に加わった荷重による歪みを検出して、電気抵抗値に変換するセンサ	台秤、トラックスケール、フックに吊り下げて計量するクレーンスケール、その他特殊用途に使用



分析用天秤



防水電子台秤



クレーンスケール



ウェィング・インジケータ



デジタル・ロードセル

製品紹介（医療・健康機器）

種 別	概 要	主 要 製 品	特 徴 等
病 院 用 デジタル血圧計	医療機関 や高齢者 介護施設 向血圧計	携帯型自動血圧計	24時間の日常生活での血圧変動を測定
		血 圧 監 視 装 置	SpO2（動脈血酸素飽和度）と血圧を同時監視
		バイタルセンサ	血圧・体温・SpO2・ECG等バイタルサイン測定
		全自動血圧計	腕を入れるだけでワンタッチ操作の自動測定
メ デ ィ カ ル 計 量 器	医療機関 や高齢者 介護施設 向計量器	身長体重計	身長・体重をデジタル測定、肥満度等也表示
		ベッドスケール	治療時の体重変化を測定、監視、記録
		バリアフリー スケール	フラットな計量台、車イス乗車のままや、手すり につかまった状態で安全に計測
健 康 機 器	在宅での 健康管理 用機器	デジタ ル血圧計	上腕式 手首式
		超音波吸入器	血圧測定に不規則脈波検知、音声等も付加 小型・軽量サイズで外出先でも手軽に血圧測定
		体 重 計	温熱、加湿効果でノド、鼻の不快感を緩和
			50 g 単位、肥満・痩せの基準BMI也表示



DSPシステムとは

DSPシステム

■ DSPシステムの特徴

◇自動車等の複雑な製品の開発・生産現場において、開発期間の短縮・ローコスト化を実現する画期的なシステムです

つないでテストする



エンジンの試作品



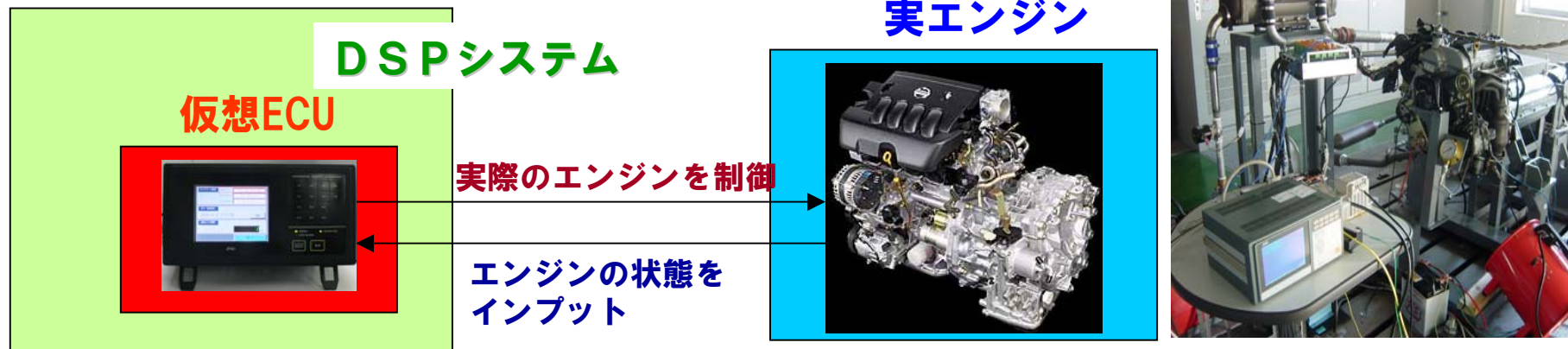
エンジン以外の車両部分をコンピュータにモデル化

エンジン以外の部分が完成していなくても、エンジンを実際の車両に搭載した場合を想定したテストを行う事が可能

DSPシステムの採用事例－1

RPT (Rapid Proto Type)

コンピュータ上にECUの試作モデルを作成して、実際のエンジンを制御してテストを行う



HILS (Hardware In the Loop Simulation)

コンピュータ上に仮想のエンジンや車両のモデルを作成して、試作品のECUのテストを行う



DSPシステムの採用事例－2

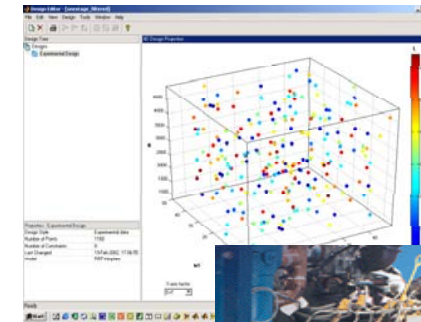
ORION

適合支援自動計測
ソフトウェア

1. 適合とは

ECU開発プロセスで、ECUがエンジンや変速機などの制御を最適に行うためにECUの設定作業（チューニング）を行うこと。

実験計画



評価試験



2. ORIONの特徴

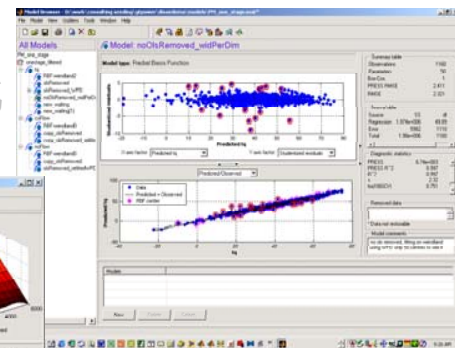
・フレキシビリティ

カスタマイズが容易で、ユーザーが計測アルゴリズムの作成等、各自の仕様に合わせて設定を変更出来る

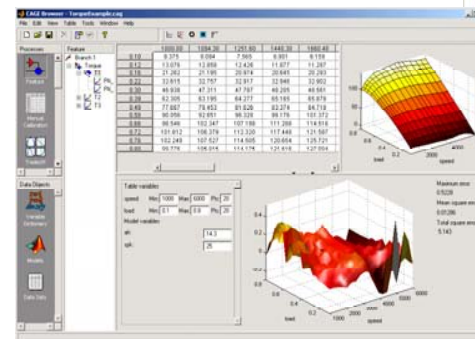
・オープン性

他のシステムとの接続が可能であり、今まで使用していた資産の有効活用が可能

ECUのモデル化



適合



電子ビーム関連ユニット

電子ビーム関連ユニット

微細な半導体の回路を描画するための手段として、主にマスク製造（半導体のネガの様なもの）に電子ビームが利用されておりますが、当社は電子ビーム露光装置に組み込む基幹ユニットを半導体露光装置メーカーに提供しています

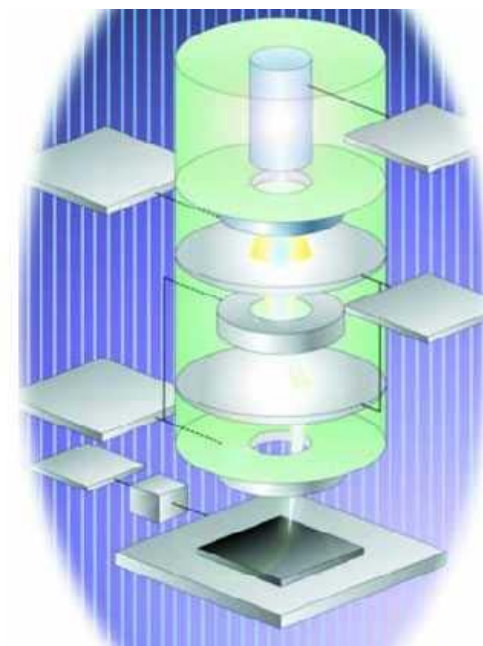
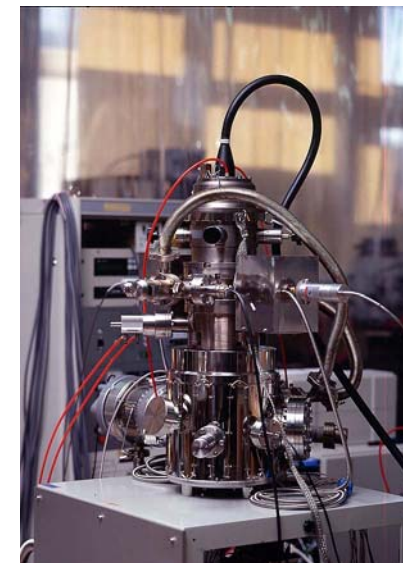
当社が提供する主要なユニット

- ビーム偏向回路

電子ビームの照射方向を制御するもので、精度・速度ともに世界最高水準です

- 電子銃

電子ビームを発生させる設備で、世界でもトップクラスの出力と安定稼働率を備えています



開発の状況

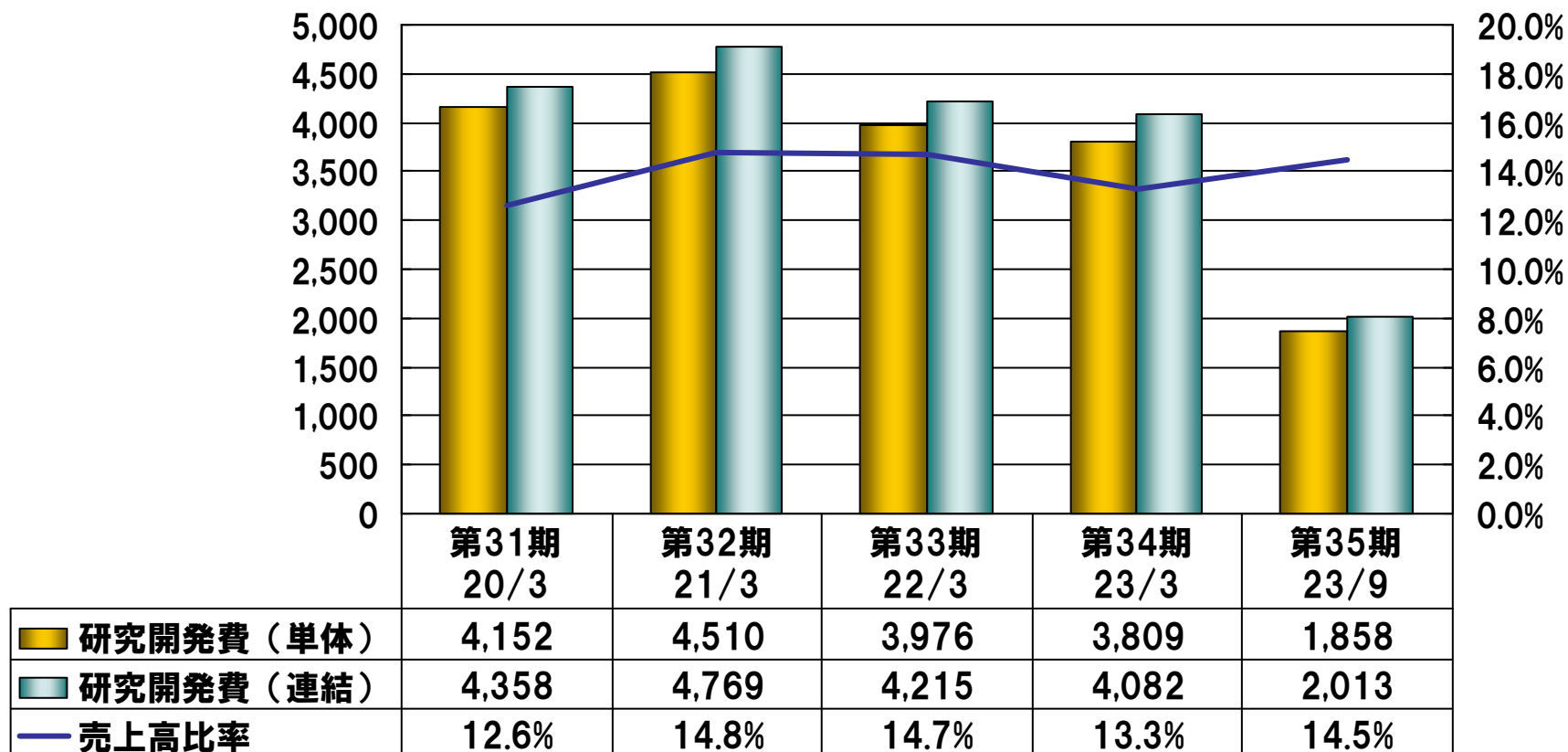


社内資源の多くを開発に投入し、
各事業分野で継続して開発を実施。

(平成23年9月末/ A & D 単体)

既存事業 183名 (50.6%) 開発人員比率
新規事業 179名 (49.4%) (単体) は52.5%
合 計 362名

研究開発費
(単位：百万円)



※売上高比率は連結売上で算出

